



新しくなった植物生理学会ホームページを、新設されたコーナーを中心に紹介します。

#### (1) JSPP WEB FORUM

日本植物生理学会の会員同士の交流を目的に開設されている掲示板です。いろいろな意見の交換、質問、提案など何でも自由に利用してください。

#### (2) みんなの広場

会員、非会員を問わず植物生理学に興味をもつ方々が自由に交流するためのコーナーで、トピックス、画像ギャラリー、PCP ギャラリー、フォーラムの4つのパートからなります。トピックスでは、その分野の専門家をお願いして植物生理学の最新的话题をわかりやすく解説していただきます。画像ギャラリーでは、いろいろな美しい画像をわかりやすい説明とともに紹介しています。PCP ギャラリーでは *Plant Cell Physiology* 誌の表紙を毎号解説付で紹介しています。フォーラムは会員、非会員をとわず植物生理学に興味をもつ方々が自由に交流できる掲示板です。

なお、ホームページ企画委員会では、常時、情報の提供を受け付けていますので、(mhsato@bio.h.kyoto-u.a.jp) までご連絡ください。

トピックス、画像ギャラリーへのデータを提供者には JSPP 特製マグカップ（写真）を謹呈します。

#### 2. 次期評議員（2002-2003年度）選挙

今年度は次期評議員選挙の年に当たり、予定どおり10月1日に国内通常会員宛に「次期評議員選挙投票用紙」が送付されました。投票は11月1日に締め切れ、選挙監理委員（長谷あきら氏、真野純一氏）によって、学会本部において開票が行われます。また、会長指名評議員の選定も開票後速やかに行われます。

#### 3. 学会賞受賞者の選考

学会通信第82号で公示しました奨励賞候補者の募集は10月19日に締め切られました。奨励賞と論文賞の受賞候補者は11月17日の学会賞選考委員会（委員長、浅田浩二氏）で選出され、常任評議員会の議を経て決定される予定です。

#### 4. 2003年度年会開催地

磯貝彰氏（奈良先端科学技術大学院大学）を年会委員長として、2003年3月27-29日に東大阪市の近畿大学本部で開催される予定です。

#### 5. 会員状況

2000年末の会員数および9月20日現在における会員数は下表のとおりです。新入会員リストは巻末に掲載しています。

	2000年末	2001年 9月20日	増減
国内通常会員	1,496	1,499	3
国内学生会員	498	491	-7
国外通常会員	418	390	-28
国外学生会員	20	12	-8
国内団体会員	116	115	-1
国外団体会員 (OUP)	586	546	-40
賛助会員 <口数>	35<35>	31<31>	-4<4>
計	3,169	3,084	-85

## PCP ニュース

### 2000年インパクトファクター速報

PCP 編集長 西村 幹夫

2000年のインパクトファクターの数値が発表されました。*Plant Cell Physiology* は2.311で、前回1999年と同様に2を超え、更に上昇傾向にあります（表1）。今回の数値は、1998年と1999年に掲載された論文が2000年中にどれだけ引用されたかを計算したのになります。表2に植物分野のジャーナルのインパクトファクターの値

を示します。*Plant Cell Physiology* は19位で、Review 誌を除くと10位となります。1999年と比較すると、*Plant Cell*, *Plant J.*, *Mol. Plant Microbe In.* 等のジャーナルが上昇傾向にある反面、*J. Exp. Bot.*, *Physiol. Plantarum*, *Photosynth Res.* 等のジャーナルは下降傾向にあり、ジャーナルの両極化が進んでいるように判断されます。

表1 PCP のインパクトファクターの推移

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
Impact Factor	1.46	1.70	1.96	1.93	1.63	1.79	1.83	2.26	2.31

表2 植物領域(Plant Sciences)におけるジャーナルのインパクトファクター

(JCR 1999, 2000より引用)

1999年			2000年		
1	ANNU REV PLANT PHYS	17.000	1	ANNU REV PLANT PHYS	15.094
2	PLANT CELL	10.463	2	PLANT CELL	11.093
3	TRENDS PLANT SCI	9.350	3	TRENDS PLANT SCI	9.637
4	CRIT REV PLANT SCI	5.448	4	CURR OPIN PLANT BIOL	7.347
5	ANNU REV PHYTOPATHOL	5.361	5	PLANT J	5.629
6	PLANT J	5.090	6	ANNU REV PHYTOPATHOL	5.033
7	PLANT PHYSIOL	4.434	7	PLANT PHYSIOL	4.831
8	ADV BOT RES	4.378	8	ANN MO BOT GARD	4.327
9	CURR OPIN PLANT BIOL	3.627	9	ADV BOT RES	3.938
10	PLANT CELL ENVIRON	3.579	10	MOL PLANT MICROBE IN	3.448
11	MOL PLANT MICROBE IN	3.331	11	CRIT REV PLANT SCI	3.422
12	PLANT MOL BIOL	3.102	12	PLANT MOL BIOL	3.226
13	PLANTA	2.977	13	PLANTA	3.199
14	MOL BREEDING	2.786	14	PLANT CELL ENVIRON	2.799
15	PHYTOPATHOLOGY	2.632	15	MOL BREEDING	2.418
16	J EXP BOT	2.482	16	THEOR APPL GENET	2.358
17	PHYSIOL PLANTARUM	2.460	17	AM J BOT	2.350
18	AM J BOT	2.383	18	J EXP BOT	2.314
19	<b>PLANT CELL PHYSIOL</b>	<b>2.259</b>	19	<b>PLANT CELL PHYSIOL</b>	<b>2.311</b>
20	ANN MO BOT GARD	2.241	20	SEX PLANT REPROD	2.260
21	NEW PHYTOL	2.156	21	NEW PHYTOL	2.149
22	THEOR APPL GENET	2.082	22	PHYTOPATHOLOGY	2.145
23	J PHYCOL	2.053	23	PHYSIOL MOL PLANT P	1.970
24	BOT REV	2.037	24	J NAT PROD	1.878
25	J VEG SCI	1.957	25	PLANTA MED	1.831
26	SEX PLANT REPROD	1.811	26	J PHYCOL	1.773
27	PHOTOSYNTH RES	1.714	27	SEED SCI RES	1.772
28	J NAT PROD	1.652	28	PHOTOSYNTH RES	1.633
29	PROTOPLASMA	1.631	29	J VEG SCI	1.589
30	EUR J PHYCOL	1.628	30	BOT REV	1.583
31	AUST J PLANT PHYSIOL	1.579	31	PHYSIOL PLANTARUM	1.476
32	PHYSIOL MOL PLANT P	1.527	32	SYST BOT	1.440
33	PLANTA MED	1.438	33	PLANT SYST EVOL	1.408
34	BOT ACTA	1.427	34	AUST J PLANT PHYSIOL	1.355
35	PLANT PHYSIOL BIOCH	1.347	35	PROTOPLASMA	1.333
36	PLANT ECOL	1.339	36	BOT ACTA	1.323
37	ANN BOT-LONDON	1.326	37	J PLANT RES	1.305
38	SYST BOT	1.325	38	PLANT PHYSIOL BIOCH	1.292
39	PLANT SYST EVOL	1.302	39	ACTA BOT NEERL	1.286
40	PLANT SOIL	1.281	40	PLANT CELL REP	1.277
41	AQUAT BOT	1.170	41	EUR J PHYCOL	1.276
42	INT J PLANT SCI	1.160	42	ANN BOT-LONDON	1.274
43	J PLANT PHYSIOL	1.143	43	PLANT SCI	1.259
44	WEED SCI	1.127	44	VEG HIST ARCHAEOBOT	1.233
45	EUR J PLANT PATHOL	1.122	45	PLANT SOIL	1.218
46	PHYTOCHEMISTRY	1.106	46	PLANT BIOLOGY	1.215
47	AUST J BOT	1.087	47	Z PFLANZ BODENKUNDE	1.207
48	TAXON	1.087	48	PHYTOCHEM ANALYSIS	1.206
49	PLANT CELL REP	1.076	49	BOT J UNN SOC	1.125
50	VEG HIST ARCHAEOBOT	1.056	50	PHYTOCHEMISTRY	1.112

昨年7月から実施した雑誌のオンライン化や今後導入するオンライン投稿・レビューシステムを活用するとともに、植物科学の重要な研究成果を発表していくことにより、インパクトファクター3を目指したいと思えます。表3は日本の学会で編集されている国際誌のインパクトファクターを上位からリストしたものです。*Plant Cell Physiology* は分子生物学会の *Genes to Cells*, 免疫学会の *Internat. Immunology* について3位になっています。

昨年12月に *Plant Cell Physiology* は植物分野の他5誌 (*Plant Physiol.*, *Plant Cell*, *Plant J.*, *Plant Mol. Biol.*, *J. Exp. Bot.*) と「The Free Flow of Ideas, Information and Materials.」という共同宣言に参加し、各誌にその宣言文が掲載されました(1)。このことは *Plant Cell Physiology* が植物分野の主要ジャーナルとして認められてきていることを端的に示しています。

(1) The free flow of ideas, information, and materials.

Raikhel, N. V., Nishimura, M., Quatrano, R. S., Howell, S. H., Davies, W. and Bowles, D.

*Plant Physiol.* 124 (4) 1455 (2000)

*Plant Cell Physiol.* 41 (12) : I(2000)

*Plant Cell* 12 (12) 2297 (2000)

*Plant Mol. Biol.* 44 (6) v-vi(2000)

表3 2000年日本発ジャーナルのインパクトファクター

(JCR 2000より引用)

生物-医学系上位10誌

<i>Genes to Cells</i>	(分子生物学会)	4.885
<i>International Immunology</i>	(免疫学会)	3.130
<b><i>Plant Cell Physiology</i></b>	(植物生理学会)	<b>2.311</b>
<i>Jpn J Cancer Res</i>	(癌学会)	2.120
<i>J Biochem</i>	(生化学会)	2.116
<i>Neuroscience Research</i>	(神経科学会)	1.858
<i>Dev Growth Different</i>	(発生生物学会)	1.730
<i>Jpn J Physiol</i>	(生理学会)	1.351
<i>J Antibiotics</i>	(抗生物質協議会)	1.347
<i>Jpn J Pharmacol</i>	(薬理学会)	1.317

非-医学生物系上位5誌

<i>Jpn J Appl Phy</i>	(応用物理学会)	2.180
<i>Pub Astrop Soc Jpn</i>	(天体物理学会)	1.970
<i>J Phys Soc Jpn</i>	(物理学会)	1.943
<i>Bul Chem Soc Jap</i>	(化学会)	1.834
<i>Chemistry Let</i>	(化学会)	1.633

その他

*Jpn J Pharmacol*: 1.317, *J Plant Res*: 1.305, *Int J Hematol*: 1.212, *Arch Hist Cytol*: 1.202, *Chem Pharm Bul*: 1.117, *Cell Strc Func*: 0.960, *Pathol Interntl*: 0.830, *Jpn J Clin Oncol*: 0.786, *Endocrine J*: 0.779

*J. Exp. Bot.* 52 (354) i(2001)

*Plant J.* 24 (6) iii(2000)

*Plant Cell Physiology* は2001年8月末現在, Vol. 42 No. 10の掲載論文を決定し, 編集は順調に進んでいます。Vol. 42について, 10月号までに掲載される論文数は151編にのぼります。Rapid paperを巻頭に掲載し審査期間を2週間にしたところ, 投稿も増え, 10月号までに11編のRapid paperが掲載される予定です。また, カラーページ枚数も年々増加しています。

8月号からInstructionsを改訂しました。主な改定点は以下の3点です。(1) 非会員でも投稿できることとし, 非会員の掲載論文については一万円のhandling chargeをとること。(2) 論文の順序をAbstract, Introduction, Results, Discussion, Materials and Methods... とすること。(3) 別刷の無料提供を50部とすること。すでに8月号からこれらの変更を実施に移しています。更に9月号から裏表紙もカラー化し, いろいろな情報を伝えていくようにしました。11月号には来年の岡山大会のアナウンスが掲載される予定です。

*Plant Cell Physiology* では現在, オンライン投稿・レビューシステムの導入に向けて検討を続けています。編集の国際化, 高速化をはかる際, オンラインによる投稿・審査は重要であり, 他の主要なジャーナルもオンラインシステムを導入しようとしています。*Plant Cell Physiology* では今年度オンライン投稿・レビューシステムの導入を試行し, 従来の論文投稿と併用させるよう準備しています。

最後に *Plant Cell Physiology* の投稿・審査状況を説明します。2001年8月22日現在200編の投稿があり, 審査は順調に進んでいます(表4)。2000年に投稿された論文は現在4編が審査中ですが, 採択率は51.8%となっており, 最終的な数値は例年とほぼ同じになることが予想されます。国別の投稿状況については, 2001年も幅広い国々からの投稿が寄せられています(表5)。

*Plant Cell Physiology* の国際誌としての更なる発展のために会員皆様の一層の御理解, 御協力ならびに御支援をいただきますよう編集陣一同に代わりお願い申し上げます。

表4 投稿論文の審査結果

2001年8月22日現在

	1998	1999	2000	2001
Accepted	178 (51.8%)	174 (51.8%)	170 (51.8%)	63 (31.5%)
Declined	152	144	132	69
Withdrawn	13	18	22	2
Under review	0	0	4	66
Total	343	336	328	200

